

東京都立広尾高等学校

【校長】 山室 俊浩
 【生徒数】 622名
 【学級数】 16学級



【課題・改善】

- 習得した知識を生かし、適切な意思決定・行動選択ができる力を育成したが、性教育の分野に関しての成果を図る手段が課題である。

【今後の取組】

- 今後、教科等横断的に学校全体で健康教育の充実を図っていくとともに、定期的に健康に関するアンケートを実施し、生徒の意識や理解度を把握する。

目標

- ・ 生涯を通じて、生徒が自らのライフプランと健康との関わりについて理解し、生徒自身の行動をよりよく改善していくための資質・能力の育成

【実態・課題】

- 科目保健や家庭基礎で習得した知識を自身の実生活に生かせるようにする必要がある。

⇒ 生徒が習得した知識を実生活に活用できるように、自らのライフプランと健康との関わりについて理解する。

【成果】

- **生徒の意識に関する成果**
今回の取組によって、性に関する内容について、多くの生徒において自身の問題と捉えて学習に臨む姿勢が培われた。
- **生徒の態度に関する成果**
外部講師等の講義を聞く態度はしっかりと培われている。
- **その他（教員の授業改善など）**
保健体育科や家庭科以外の教科の教員が、健康教育の大切さに気付き、学校全体で取組む必要性が伝わった。

【取組】

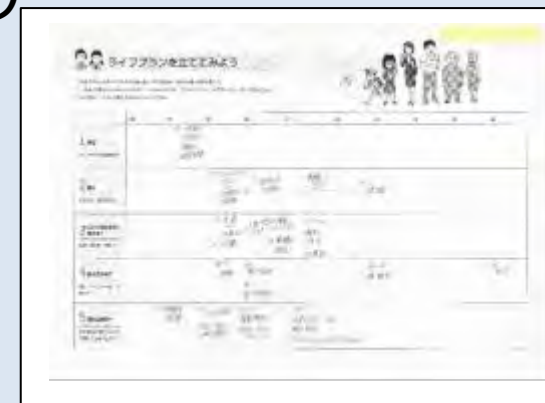
- **科目保健におけるライフプランニング**
- **学校の危機管理能力向上のため、アレルギー講習会に参加**
「令和4年度文部科学省補助事業アレルギー講習会（学校における普及啓発講習会）」
- **産婦人科医を招へいした授業の実施**

【取組（詳細）】

○ 科目保健におけるライフプランニング

人生100年時代を健康に生きるために、高校生が進路選択にあたって、就職のみならず結婚、出産、育児などのライフイベントを踏まえて総合的に考えることができるよう、ライフプランの作成を行った。

併せて、作成したライフプランを実現できるように、健康に過ごすことの重要性を生徒が思考した。

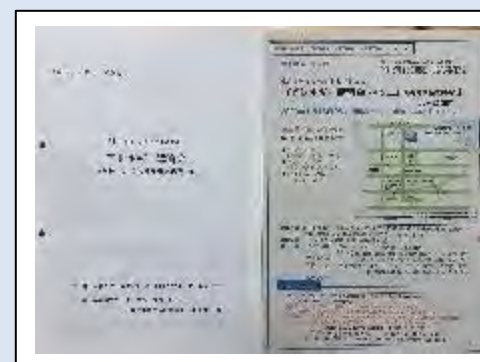


生徒が作成したライフプラン

○ 学校の危機管理能力向上のためにアレルギー講習会に参加

日本学校保健会主催のアレルギー講習会の内容

学校の危機管理の一環として、「令和4年度文部科学省補助事業アレルギー講習会（学校における普及啓発講習会）」に参加した。アレルギー対応が強く求められている現状を踏まえ、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」や「学校生活管理指導表（アレルギー疾患用）」を基に、学校でのアレルギー疾患の対応、アレルギー疾患の現状を講師が解説し、今後の学校での取組の充実を図ることを目的とした講習会に参加した。研修の内容について、校内研修で情報共有を図った。



講習会資料

○ 産婦人科医を招へいした授業の実施

授業内容の説明

- ①男女の体の成長について
- ②若年層の性行動について
- ③性感染症について
- ④心身を守る行動について

生徒の様子

自身のライフプランに沿って、身近な課題として捉え、集中して話を聞いていた。

外部人材を活用した授業について

普段の授業とは違った緊張感の中で専門家による講義であるため、生徒が集中して学習していた。記憶に残りやすかった。



授業風景